

早稲田公共政策カレッジ：講義内容の構成に際してご留意いただきたい事項

講義の構成をご検討いただくに際して、可能な範囲でご配慮いただきたい点を以下に記載いたします。最終的には講師の皆様のスタイルを優先していただければと存じますが、参考情報としてご覧いただき、可能な範囲で盛り込んでいただけると、受講生にとっての学びが深まるかと考えております。

1. 講師と受講生の双方向性のある構成

講師からの一方的な講義に終始することなく、講師と受講生、または受講生同士の対面ならではのインタラクティブな質疑やディスカッション、ワークを交えた構成を意識いただけますと幸いです。1コマが2時間と少し長いことから、質問時間を設ける場合は講義の中間と最後に分けていただくといったことも受講者にとってメリハリが生まれるかと存じます。

2. 「明日から実務で応用・意識できること」の明示

履修証明プログラムの特性上、各講義の時間が限られていることから、エッセンスを凝縮してお伝えいただく形にならざるを得ないかと存じます。その中でも、例えば講義の最終パートで、「この部分については明日から意識することで実務に活かしていける」といった部分を明示いただくと、受講者の意識と行動の変容に即効性を持って影響を与えることができ、効果的かと存じます。

3. 「さらに学びを深めたい場合」への参考情報の提供

前項と重なる部分となりますが、講義いただくテーマについて、今後さらに深く学びたい、と感じた受講生がいることを想定して、講義の中で、さらに学びを深めたい方にとって参考となる図書やセミナー、教育機関等をご紹介いただくと、受講生のモチベーション向上、今後の自主的な自己研鑽につながるかと存じます。

講座設計に際してご不明な点、悩む点などありましたら稲継教授および事務局（高木）宛にご連絡、ご相談ください。

何卒よろしく願いいたします。

以上